資料３

令和7年度実績
地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保量」

⑴　利用者支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～５
⑵　地域子育て支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～７
⑶　妊婦健康診査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
⑷　乳児家庭全戸訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
⑸　養育支援訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
⑹　子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業・・・・・・・・・・・・・１１
⑺　子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）・・・・１２
⑻　子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）・・１３～１４
⑼　一時預かり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５～１８
　①認定こども園及び幼稚園の在園児を対象とする一時預かり（幼稚園型）
　②保育所等における一時預かり（幼稚園型以外）
⑽ 延長保育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
⑾ 病児・病後児保育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
⑿ 放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１～３２
⒀ 実費徴収に係る補足給付を行う事業・・・・・・・・・・・・・・・・・３３～３４
⒁ 多様な事業者の参入促進・能力活用事業・・・・・・・・・・・・・・・３５
⒂ 子育て世帯訪問支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
⒃ 児童育成支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
⒄ 親子関係形成支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
⒅ 妊婦等包括相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
⒆ 産後ケア事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
⒇ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）・・・・・・・・・・・４１～４２

総括

事業ごとに、取組内容や今後の課題、方向性等を記載していますので、各事業のページを御確認ください。

（1）利用者支援事業

【事業概要】

教育・保育施設や地域の子育て支援事業などの情報提供及び必要に応じ相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

○基本型…こどもや保護者の身近な場所で、教育・保育施設や子育て支援事業の利用支援、関係機関との連絡調整等を行います。

○こども家庭センター型（旧母子保健型）…保健師等によるこども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心とした専門的な対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行います。

【確保方策】

子育て世代包括支援センターの意義や機能は維持した上で組織を見直した「こども家庭センター」を開設し、こども家庭センター型として利用者支援事業を実施します。

また、各中学校区（市内４区）に１か所ずつ地域子育て相談機関を設置し、こども家庭センターと連携を図ることで、より迅速な実態把握と適切な対応に努めます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（実施か所数）		3か所	7か所	7か所	7か所	7か所
	②確保量（実施か所数）		3か所	7か所	7か所	7か所	7か所
	基本型		2か所	6か所	6か所	6か所	6か所
	こども家庭センター型		1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	過不足（②－①）		0か所	0か所	0か所	0か所	0か所

◆地域子育て相談機関

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（実施か所数）		4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
	②確保量（実施か所数）		0か所	4か所	4か所	4か所	4か所
	過不足（②－①）		▲4か所	0か所	0か所	0か所	0か所

＜実績＞

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③実施か所数		3 か所	3か所				
		基本型	2 か所	2か所				
		こども家庭センター型	1 か所	1か所				
	計画との差（③ー①）		-	0か所				

◆地域子育て相談機関

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③実施か所数	-	0か所				
	計画との差（③ー①）	-	▲ 4か所				

○利用者支援事業（基本型）

【令和7年度取組内容】

子育てひろばや定期健診の会場、またオンライン等で相談に応じ、相談者に寄り添いながら、個々の状況に応じた適切な助言等を行いました。

【実施状況】

＜相談対応内容＞ （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所に関する相談	40	50	49	56	67	81	75	126	25	61	58	63	751
在園児からの相談	40	44	37	47	40	37	43	27	22	29	36	37	439
発達・障がい児童のいる家庭からの相談	0	0	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	6
その他・特殊ケース	55	61	60	82	116	117	117	80	51	80	68	72	959
Ｒ７年度合計	135	155	148	186	223	235	236	235	98	170	162	172	2,155
Ｒ６年度合計	109	157	128	125	122	122	104	222	105	171	104	109	1,578
Ｒ７年度－Ｒ６年度	26	▲2	20	61	101	113	132	13	▲7	▲1	58	63	577

※その他・特殊ケースの内容は次のとおり

・一時預かりに関する相談

・児童の入所に関する施設との調整

・虐待など、特別な支援・配慮が必要な家庭からの相談

＜会議＞ （回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要保護･要支援児童に対する連絡調整会議	1	1		2		1	1	1		1		1	9
個別ケースに対する支援								1					1

【今後の課題等】

多様化する保護者のニーズや個々の状況に対応するため、支援体制の維持・向上が必要です。また、より気軽に相談ができる環境の整備が必要です。

【来年度以降の方向性】

支援の質の向上を図るとともに、様々な媒体で相談を受けられるよう、環境整備に取り組んでいきます。

○利用者支援事業（こども家庭センター型）

【令和7年度取組内容】

令和７年度からこども家庭センターを設置し、合同ケース会議の開催やサポートプランの作成など、母子保健・児童福祉の双方の機能で連携した一体的な相談支援に取り組みました。

【今後の課題等】

包括的な支援を行うために、既存の地域資源を有効に活用しつつ、支援体制の強化やより適切な支援方法を検討していく必要があります。

【来年度以降の方向性】

こども家庭センターを運営し、こども分野に限らない地域資源の開拓や、包括的な子育て支援となる方法を採用し、よりよい支援を実施していきます。

○地域子育て相談機関

【令和7年度取組内容】

近隣市の実施状況について、情報収集を行いました。

【今後の課題等】

包括的な支援をしていくために、地域子育て相談機関を設置していく必要があります。

【来年度以降の方向性】

より身近な相談先である地域子育て相談機関を設置し、こども家庭センターと連携を図ることにより、包括的な支援を行います。

（2）地域子育て支援拠点事業

【事業概要】

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所（子育て支援センター等）を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行う事業です。

【確保方策】

現在（計画策定時：令和６年度）の実施体制（市内９か所）を維持し、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供すいることで、子育ての孤立感、負担感の解消に努めます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

	区分			こども計画				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用）			21,814人	21,667人	22,022人	21,740人	21,508人
	②確保量	（実施か所数）		9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
		（年間受入可能人数）		35,678人	35,678人	35,678人	35,678人	35,678人
	過不足（②－①）			13,864	14,011	13,656	13,938	14,170人

＜実績＞

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③延べ利用者数		16,861人	24,166人				
	（実施か所数）		(9か所)	(9か所)				
		支援センター	9,765人	16,792人				
		（実施か所数）	(1か所)	(1か所)				
		子育てひろば	1,417人	980人				
		（実施か所数）	(5か所)	(5か所)				
		つどいの広場	5,679人	6,394人				
		（実施か所数）	(3か所)	(3か所)				
	延べ利用者数－量の見込み（③－①）		-	2,352人				

【令和7年度取組内容】

こどもみらいプラザの建設により、令和６年度まで市役所分室に設置していた子育て支援センターをプラザ２階に移設し、「クルリンにじっこひろば」として大幅にリニューアルしました。施設面積も約２倍となり、明るく開放的な環境が整ったことで、利用者は前年度比で約１．７倍となりました。

つどいの広場（３か所）と子育てひろば（５か所）は継続して実施し、地域団体等への委託や子育てアドバイザーの派遣等により、子育て中の保護者に相談や交流の場を提供するとともに子育て情報の提供や情報交換をすることで孤立化を防ぎ、育児不安の軽減を図りました。

【今後の課題等】

子育て世代の悩みや要望に対し、的確で寄り添った情報提供や助言を行うため、担当スタッフの意識や知識の向上が求められます。

また、「つどいの広場」の円滑で継続的な運営を図るため、「つどいの広場（なるせ）」の受託者である｢子育てサポーター連絡協議会｣との連携強化や、実施施設の運営上の課題整理に向けた取組が必要です。

【来年度以降の方向性】

本事業をさらに多くの人に利用してもらえるようＰＲに努めるとともに、運営方法の見直し検討や魅力的なイベント実施等に取り組みます。

「つどいの広場」については、｢子育てサポーター連絡協議会｣や「社会福祉法人大原福祉会」への委託等を継続することで、地域との連携・協働した活動を図ります。

（3）妊婦健康診査事業

【事業概要】

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

【確保方策】

○引き続き、国基準の検査項目、検査回数に応じた受診が適切に行われるよう、提供体制を確保していきます。

○確保のための提供体制は以下のとおりです。

●実施場所：各医療機関

●実施体制：医師、助産師等

●検査項目及び実施時期：国基準による8項目、14回

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

計画	区分			こども計画				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み	（年間実利用者数）		606人	595人	588人	582人	576人
		（年間延利用回数）		7,063回	6,935回	6,853回	6,783回	6,713回
	②確保量（年間延利用回数）			8,484回	8,330回	8,232回	8,148回	8,064回
	過不足（②－①）			1,421回	1,395回	1,379回	1,365回	1,351回

＜実績＞

実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③延べ健診回数	6,830回	6,756回				
	妊娠届出数	585	548				
	③実績－①計画（延べ健診回数）	-	▲ 307回				

・実施場所：各医療機関　・実施体制：医師、助産師等

・検査項目及び実施時期：国基準による8項目、14回

【令和7年度取組内容】

妊娠届出時、保健師や助産師等が面接を行い、妊婦健康診査等補助券を交付しました。妊婦や胎児の健康を守るため、妊婦健康診査等の受診勧奨を行うとともに、里帰り等で補助券が使用できない場合の償還払いについても説明を行いました。

【今後の課題等】

妊婦健康診査助成額は全国平均助成額より低い状況です。神奈川県で妊婦健康診査検討会を開催し、県全体として妊婦健診助成額の増額に向けて取り組みました。

【来年度以降の方向性】

妊婦健康診査助成額14回分を7万8千円から11万1千円に増額し、できるだけ自己負担なく妊婦健診が受けられる体制を整えます。

（4）乳児家庭全戸訪問事業

【事業概要】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境などの把握を行う事業です。

【確保方策】

○引き続き、全ての乳児家庭に訪問できる体制を確保していきます。
○確保のための提供体制は以下のとおりです。

●実施体制：保健師、助産師

●実施機関：市

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

計画	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み（年間訪問乳児数）		606人	595人	588人	582人	576人
	②確保量（年間訪問乳児数）		606人	595人	588人	582人	576人
	過不足（②－①）		0	0	0	0	0

＜実績＞

実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③延べ人数	577人	555人				
	延べ人数ー確保量（③－①）	-	▲ 51人				

・実施体制：保健師、助産師

【令和7年度取組内容】

生後４か月までの乳児のいるすべての家庭に、助産師、保健師による訪問を実施し、乳児の発育発達の確認、育児相談、産後うつのスクリーニングを行いました。必要に応じて、産後ケア事業、すくすく健康相談等の事業につなげ、継続支援を行いました。

【今後の課題等】

メンタル既往や未婚での出産など、複雑な背景を持つ母親や家庭が増えています。

【来年度以降の方向性】

引き続き、助産師・保健師が全数訪問することで、育児相談とともに産後うつのスクリーニングを実施し、産科医療機関とも連携しながら、必要な支援を行っていきます。

（5）養育支援訪問事業

【事業概要】

要保護児童対策協議会で対応された様々な原因で子育てが困難になっている家庭に対して、家庭を訪問し、適切な養育や安定した生活基盤が整えられるよう、個々の状況に応じた相談、指導、支援を行うほか、その関連機関の専門性強化や連携強化のための取組を行う事業です。

【確保方策】

要保護児童対策地域協議会等と連携し、対象家庭の把握に努めるとともに、養育支援が必要な児童に対して迅速に対応するなど、引き続き、児童虐待の未然防止を図ります。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

計画	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み（年間延利用件数）		5件	5件	5件	5件	5件
	②確保量（年間延利用件数）		5件	5件	5件	5件	5件
	過不足（②－①）		0件	0件	0件	0件	0件

＜実績＞

実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③実績件数	1件	3件				
	実績件数－量の見込み（③－①）	-	▲ 2件				

【令和7年度取組内容】

要保護児童対策地域協議会で受理したケースについて、保護者の精神的不安定さや養育力の低さなどの原因により、養育環境が脆弱と思われる家庭に対して、専門職派遣の支援を短期集中的に実施し、児童虐待の早期対応と未然防止に努めました。

【今後の課題等】

高い専門性に特化した支援が求められることから、より適切な事業や方法を検討しながら、支援を行う必要があります。

【来年度以降の方向性】

養育支援が特に必要な家庭に対して、専門員が居宅を訪問し支援を行います。

（６）子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
（その他要保護児童等の支援に資する事業）

【事業概要】

要保護児童対策協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施する事業です。

【計画の方針】

伊勢原市要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関と連携し、専門性の強化、ネットワーク機関間の連携強化を図るとともに、虐待の未然防止、リスクの把握、早期対応のできる環境づくりに努めます。

【令和7年度取組内容】

要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し、子どもの適切な支援及び予防のための必要な情報共有を行うとともに、代表者会議１回、実務者会議２回、全ケース会議１２回開催しました。

【今後の課題等】

児童虐待の予防及び早期発見、早期対応において、支援体制の強化や既存の地域資源を有効に活用し、必要な事業等について協議していく必要があります。

【来年度以降の方向性】

要保護児童対策地域協議会を通じて関係機関と連携し、専門性の強化とネットワーク機関の連携強化を図るとともに、虐待の未然防止、リスクの把握、早期対応に努めてまいります。

（7）子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）

【事業概要】

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童について、児童養護施設などに入所させ、必要な保護を行う事業です。

○短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）･･･緊急一時的に児童を養育・保護する事業

○夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）･･･平日の夜間又は休日に児童を保護する事業

【確保方策】

令和６年度現在は未実施の事業であり、養育を受けることが一時的に困難となった児童に対し、適切な支援が可能となるよう、令和８年度からの新規実施に向けた支援体制の整備に努めます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分			こども計画				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）			264人	264人	264人	264人	264人
	②確保量	（年間延利用者数）		0人	264人	264人	264人	264人
		（実施か所数）		0か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	過不足（②－①）			▲ 264人	0人	0人	0人	0人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間延利用者数	-	0人				
	実施か所数	-	0か所				
	実績人数－量の見込み（③－①）	-	▲ 264人				

【令和7年度取組内容】

平塚児童相談所管内含め近隣の市町の実施状況について、情報収集を行いました。

【今後の課題等】

平塚児童相談所管内では、児童養護施設の設置がある自治体においても、整備が進んでおらす、本市においての実施も困難な状況です。

【来年度以降の方向性】

本事業の実施が可能な事業者等について、こども分野に限らず、調査していきます。

（８）子育て援助活動支援事業（ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ事業）

【事業概要】

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

【確保方策】

第２期計画における、登録支援会員数（178人）に年間平均支援回数（8.77回）を掛け合わせた値（1,562人）を確保量とし、今後も支援会員の確保に努めます。

【量の見込みと確保量（就学児の利用分）】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数） ※就学児童利用分		627人	648人	668人	689人	709人
	②確保量（年間延利用者数） ※就学児童利用分		1,562人	1,562人	1,562人	1,562人	1,562人
	過不足（②－①）		935人	914人	894人	873人	853人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③延べ利用者数	735人	757人				
	延べ利用者数－量の見込み（③－①）	-	130人				

【令和7年度取組内容】

支援会員との連携・協力体制の下、依頼会員のニーズに寄り添った援助を行いました。

また、地域における育児の相互援助への理解を深め、支援会員の新規登録者の確保や現会員の質の向上に向けて、研修や講習会等を実施しました。

【今後の課題等】

支援会員の高齢化が進む中、利用者ニーズの多様化や依頼会員に対する支援会員の割合が少ないため、相互援助活動の調整が難しくなっています。

支援会員の確保とともにスキルアップのための研修及び講習会等の充実により、質の向上を図る必要があります。

【来年度以降の方向性】

子育て中の親をサポートするため、地域住民による理解と協力のもとで相互援助活動を継続していきます。

継続して事業周知や啓発を行うことで地域における育児の相互援助への関心を広げるとともに、支援会員の確保とスキルアップを図りながらサービスのさらなる充実に努めます。

（9）一時預かり事業

【事業概要】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

①認定こども園及び幼稚園の在園児を対象とする一時預かり（幼稚園型）

【確保方策】

引き続き、既存の認定こども園及び幼稚園において受入れを図ります。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）		26,259人	24,896人	23,656人	23,334人	23,176人
	主に保育の必要性がない世帯（１号相当）による不定期の利用		9,970人	9,118人	8,645人	8,551人	8,492人
	主に保育の必要性がある世帯（２号相当）による不定期の利用		16,289人	15,778人	15,011人	14,784人	14,684人
	②確保量（年間延利用者数）		26,259人	24,896人	23,656人	23,334人	23,176人
	過不足（②－①）		0人	0人	0人	0人	0人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間延利用者数	28,258人	27,077人				
	主に保育の必要性がない世帯（１号相当）による不定期の利用	8,095人	7,204人				
	主に保育の必要性がある世帯（２号相当）による不定期の利用	20,163人	19,873人				
	延べ利用人数－量の見込み（③－①）	-	818人				

【令和7年度取組内容】

認定こども園及び幼稚園で一時預かり事業（幼稚園型）を実施しました。また、各施設に対して事業の実績に応じて補助金を交付しました。

【今後の課題等】

全国的に保育士不足等の状況がある中で、保護者が必要とする時に利用できる体制を整え、ニーズに応えていく必要があります。

【来年度以降の方向性】

今後も利用希望者が必要な時に利用できる環境を整えるため、各施設に対して補助を継続し、体制の整備を支援していきます。

（9）一時預かり事業

②保育所等における一時預かり（幼稚園型以外）

【確保方策】

量の見込みに対応した供給量を確保するため、公立保育所で１日平均1.5人を恒常的に実施できる体制を整えます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）		1,786人	1,724人	1,687人	1,667人	1,652人
	一時預かり事業（保育所等）		1,786人	1,724人	1,687人	1,667人	1,652人
	ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ事業※就学前児童利用分						
	休日保育（ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ）						
	②確保量（年間延利用者数）		1,752人	1,752人	1,752人	1,752人	1,752人
	一時預かり事業（保育所等・民間）		1,267人	1,267人	1,267人	1,267人	1,267人
	一時預かり事業（保育所等・公立）		390人	390人	390人	390人	390人
	ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ事業※就学前児童利用分		95人	95人	95人	95人	95人
	休日保育（ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ）		0人	0人	0人	0人	0人
	過不足（②－①）		▲ 34人	28人	65人	85人	100人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③延べ利用人数	1,394人	838人				
	一時預かり事業（保育所等）（実施施設数）	1,361人	803人				
			(7園)				
	ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ事業（就学前児童）	33人	35人				
	休日保育（ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ）（実施施設数）	0人	0人				
			(0園)				
	計画との差 ③－①	-	▲ 948人				

【令和7年度取組内容】

・保育所の一時預かり

市ホームページ及びガイドブック等により、保育所及び小規模保育施設における一時預かり事業を周知し、各施設に対し、実績に応じた補助金を交付しました。なお、休日保育は事業中止しています。

・ファミリー・サポート・センター事業

核家族化の進展や共働きの一般化、地域交流の希薄化など、子育てを取り巻く環境が多様化・複雑化する中で、支援会員との連携・協力体制の下で、依頼会員のニーズに寄り添った援助を行いました。

また、国の実施要綱に基づき、1年ごとに更新票の提出を求め、会員の整理・把握に努めました。

【今後の課題等】

・保育所の一時預かり

全国的に保育士不足等の状況がある中で、保護者が必要とする時に利用できる体制を整え、ニーズに応えていく必要があります。

・ファミリー・サポート・センター事業

支援会員の高齢化及び活動内容の多様化がある中で、依頼会員に対する支援会員の割合が少ないため、相互援助活動の調整が難しくなっています。

そのため、支援会員の確保とスキルアップが求められることから、研修及び講習会等の充実により援助活動の促進と質の向上を図る必要があります。

【来年度以降の方向性】

・保育所の一時預かり

今後も利用希望者が必要な時に利用できる環境を整えるため、各施設に対して補助を継続し、体制の整備を支援していきます。

・ファミリー・サポートセンター事業

子育て中の親が安心して子育てができるよう、地域住民による理解と協力のもとで相互援助活動を継続していきます。事業の周知・啓発を推進することにより市域に関心を広げ、地域の子育て支援の充実に取り組むとともに、支援会員の確保とスキルアップを図るため、研修内容の充実に努めます。

（10）延長保育事業

【事業概要】

保護者の就労形態の多様化、通勤時間や就労時間の長時間化に伴う保育ニーズに対応するため、保育所等に在園する児童を、通常の保育時間を延長して保育する事業です。

【確保方策】

引き続き、既存の認定こども園及び保育所において受入れを図ります。

【量の見込みと確保方策】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

計画	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み（年間実利用者数）		835人	827人	812人	799人	793人
	②確保量（年間実利用者数）		835人	827人	812人	799人	793人
	過不足（②－①）		0人	0人	0人	0人	0人

＜実績＞

実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③実利用人数	812人	686人				
	保育所	593人	495人				
	認定こども園	197人	174人				
	小規模保育施設	22人	17人				
	実利用人数－量の見込み（③－①）	-	▲149人				

【令和7年度取組内容】

市ホームページ、ガイドブック等において、保育所、認定こども園、小規模保育施設における事業の周知を図りました。また、各施設に対して、事業の実績に応じた補助金の交付をしました。

【今後の課題等】

全国的に保育士不足等の状況がある中で、保護者が必要とする時に利用できる体制を整え、ニーズに応えていく必要があります。

【来年度以降の方向性】

今後も利用希望者が必要な時に利用できる環境を整えるため、各施設に対して補助を継続し、体制の整備を支援していきます。

（11）病児・病後児保育事業

【事業概要】

こどもが病気又は病気の回復期にあって、集団での教育・保育や家庭での保育が困難な場合に、適切な保育環境が確保される施設で一時的に預かる事業です。

【確保方策】

引き続き、既存の実施体制において受入れを図ります。

【量の見込みと確保方策】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

計画	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み（年間延利用者数）		714人	687人	675人	665人	660人
	就学前児童		476人	458人	450人	443人	440人
	就学児童		238人	229人	225人	222人	220人
	②確保量（年間延利用者数）		1,464人	1,464人	1,464人	1,464人	1,464人
	過不足（②－①）		750人	777人	789人	799人	804人

＜実績＞

実績			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③申込者数		197人	207人				
	キャンセル数		38人	54人				
	お断り数		5人	0人				
	延べ利用人数		154人	153人				
		就学前児童	149人	150人				
		就学児童	5人	3人				
	利用者数－量の見込み（③－①）		-	▲ 561人				
	④確保量		-	1,464人				
	確保量（④－②）		-	0人				

【計画と実績の比較について】

実績を上回る量を確保しており、概ねニーズに応じた提供体制が取れています。

【令和7年度取組内容】

新型コロナウィルス感染症による影響の落ち着きに合わせてニーズは回復傾向にあり、それに対応できる体制の確保に取り組みました。

【今後の課題等】

必要な人が必要なときに利用しやすいよう、引き続きニーズを満たす実施体制の整備に取り組むことが必要です。

【来年度以降の方向性】

ニーズの推移を注視するとともに、病児・病後児保育室と連携して、事業について分かりやすく効率的に周知を図り、適切に事業を継続していきます。

（12）放課後児童健全育成事業

【事業概要】

保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生に対して、放課後に小学校の余裕教室などを利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。

【確保方策】

市全体としては、現在（計画策定時：令和６年度）の確保量で需要を満たす見込みですが、小学校区単位でみると、一部の小学校区では不足が見込まれるため、次の確保方策を検討します。

●民間委託の推進や、民間が実施する事業の拡大、新規参入の促進に取り組み、事業の実施場所と担い手の確保に努めます。

【令和7年度取組内容】

４月時点の受入拡大のため、キャンセル待ちの実施や最終調整の時点の延長などを検討しました。

【今後の課題等】

社会環境の変化に伴い、放課後児童健全育成事業をはじめ、放課後における児童の適切な居場所ニーズへの対応が必要です。

【来年度以降の方向性】

学校との連携強化、民間委託の推進、民間事業者の参入促進などによる事業の拡大と、放課後における児童の適切な居場所の確保に取り組みます。

伊勢原小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		40人	41人	39人	39人	39人
	２年生		34人	33人	35人	33人	35人
	３年生		23人	25人	25人	28人	28人
	４年生		11人	10人	12人	10人	11人
	５年生		9人	8人	8人	8人	7人
	６年生		3人	4人	3人	3人	2人
	①量の見込み		120人	121人	122人	121人	122人
	②確保量		122人	122人	122人	122人	122人
	過不足（②－①）		2人	1人	0人	1人	0人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		116人	120人				
		１年生	35人	35人				
		２年生	31人	35人				
		３年生	31人	26人				
		４年生	10人	19人				
		５年生	7人	5人				
		６年生	2人	0人				
	④利　用　者　数		109人	110人				
		１年生	35人	33人				
		２年生	30人	32人				
		３年生	31人	25人				
		４年生	10人	17人				
		５年生	1人	3人				
		６年生	2人	0人				
	待　機　児　童		7人	10人				
		１～３年生	1人	6人				
		４～６年生	6人	4人				
	⑤確　保　量		-	136人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		0人				
	１～３年生		▲1人				
	４～６年生		1人				
	確保量過不足（⑤－②）		14人				

※各年４月１日現在の人数

大山小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		5人	4人	3人	3人	3人
	２年生		4人	4人	3人	3人	3人
	３年生		2人	4人	4人	3人	3人
	４年生		3人	2人	3人	3人	3人
	５年生		人	人	0人	0人	0人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		14人	14人	13人	12人	12人
	②確保量		20人	20人	20人	20人	20人
	過不足（②－①）		6人	6人	7人	8人	8人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		11人	13人				
		１年生	5人	3人				
		２年生	2人	5人				
		３年生	3人	1人				
		４年生	1人	3人				
		５年生	0人	1人				
		６年生	0人	0人				
	④利　用　者　数		11人	13人				
		１年生	5人	3人				
		２年生	2人	5人				
		３年生	3人	1人				
		４年生	1人	3人				
		５年生	0人	1人				
		６年生	0人	0人				
	待　機　児　童		0人	0人				
		１～３年生	0人	0人				
		４～６年生	0人	0人				
	⑤確　保　量		-	20人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		▲1人				
	１～３年生		▲2人				
	４～６年生		1人				
	確保量過不足（⑤－②）		0人				

※各年４月１日現在の人数

高部屋小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		26人	27人	26人	26人	25人
	２年生		20人	19人	20人	19人	19人
	３年生		15人	16人	15人	16人	16人
	４年生		13人	12人	13人	12人	12人
	５年生		1人	1人	1人	1人	1人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		75人	75人	75人	74人	73人
	②確保量		76人	76人	76人	76人	76人
	過不足（②－①）		1人	1人	1人	2人	3人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		78人	90人				
		１年生	26人	27人				
		２年生	17人	25人				
		３年生	20人	16人				
		４年生	13人	12人				
		５年生	1人	10人				
		６年生	1人	0人				
	④利　用　者　数		75人	70人				
		１年生	26人	27人				
		２年生	15人	22人				
		３年生	19人	13人				
		４年生	13人	7人				
		５年生	1人	1人				
		６年生	1人	0人				
	待　機　児　童		3人	20人				
		１～３年生	3人	6人				
		４～６年生	0人	14人				
	⑤確　保　量		-	79人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		15人				
	１～３年生		7人				
	４～６年生		8人				
	確保量過不足（⑤－②）		3人				

※各年４月１日現在の人数

比々多小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		37人	38人	37人	36人	36人
	２年生		36人	35人	36人	36人	36人
	３年生		26人	24人	24人	27人	27人
	４年生		18人	18人	16人	15人	15人
	５年生		7人	5人	5人	4人	4人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		124人	120人	118人	118人	118人
	②確保量		124人	124人	124人	124人	124人
	過不足（②－①）		0人	4人	6人	6人	6人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		125人	104人				
		１年生	38人	24人				
		２年生	35人	31人				
		３年生	27人	30人				
		４年生	21人	16人				
		５年生	4人	3人				
		６年生	0人	0人				
	④利　用　者　数		118人	101人				
		１年生	36人	23人				
		２年生	35人	31人				
		３年生	27人	28人				
		４年生	19人	16人				
		５年生	1人	3人				
		６年生	0人	0人				
	待　機　児　童		7人	3人				
		１～３年生	2人	3人				
		４～６年生	5人	0人				
	⑤確　保　量		-	124人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		▲ 20人				
	１～３年生		▲ 14人				
	４～６年生		▲ 6人				
	確保量過不足（⑤－②）		0人				

※各年４月１日現在の人数

成瀬小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		45人	46人	46人	46人	45人
	２年生		43人	43人	44人	44人	45人
	３年生		28人	33人	33人	34人	34人
	４年生		16人	13人	14人	15人	16人
	５年生		4人	2人	2人	2人	1人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		136人	137人	139人	141人	141人
	②確保量		116人	136人	136人	146人	146人
	過不足（②－①）		▲ 20人	▲ 1人	▲ 3人	5人	5人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		135人	154人				
		１年生	44人	58人				
		２年生	38人	41人				
		３年生	33人	33人				
		４年生	17人	17人				
		５年生	2人	4人				
		６年生	1人	1人				
	④利　用　者　数		119人	129人				
		１年生	43人	54人				
		２年生	35人	37人				
		３年生	32人	29人				
		４年生	6人	4人				
		５年生	2人	4人				
		６年生	1人	1人				
	待　機　児　童		16人	25人				
		１～３年生	5人	12人				
		４～６年生	11人	13人				
	⑤確　保　量		-	118人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		18人				
	１～３年生		16人				
	４～６年生		2人				
	確保量過不足（⑤－②）		2人				

※各年４月１日現在の人数

大田小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		18人	17人	17人	16人	16人
	２年生		12人	17人	16人	16人	16人
	３年生		16人	10人	10人	10人	10人
	４年生		7人	9人	5人	6人	6人
	５年生		2人	2人	4人	3人	3人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		55人	55人	52人	51人	51人
	②確保量		84人	84人	84人	84人	84人
	過不足（②－①）		29人	29人	32人	33人	33人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		62人	82人				
		１年生	15人	32人				
		２年生	24人	13人				
		３年生	12人	19人				
		４年生	7人	13人				
		５年生	4人	2人				
		６年生	0人	3人				
	④利　用　者　数		62人	80人				
		１年生	15人	32人				
		２年生	24人	13人				
		３年生	12人	19人				
		４年生	7人	12人				
		５年生	4人	2人				
		６年生	0人	2人				
	待　機　児　童		0人	2人				
		１～３年生	0人	0人				
		４～６年生	0人	2人				
	⑤確　保　量		-	105人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		27人				
	１～３年生		18人				
	４～６年生		9人				
	確保量過不足（⑤－②）		21人				

※各年４月１日現在の人数

桜台小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		69人	69人	72人	72人	73人
	２年生		64人	65人	66人	67人	68人
	３年生		52人	62人	64人	66人	66人
	４年生		14人	17人	20人	22人	22人
	５年生		6人	6人	7人	9人	9人
	６年生		5人	5人	5人	6人	7人
	①量の見込み		210人	224人	234人	242人	245人
	②確保量		255人	255人	255人	255人	255人
	過不足（②－①）		45人	31人	21人	13人	10人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		195人	209人				
		１年生	71人	56人				
		２年生	49人	72人				
		３年生	36人	42人				
		４年生	29人	20人				
		５年生	4人	16人				
		６年生	6人	3人				
	④利　用　者　数		171人	185人				
		１年生	65人	52人				
		２年生	45人	67人				
		３年生	30人	33人				
		４年生	21人	14人				
		５年生	4人	16人				
		６年生	6人	3人				
	待　機　児　童		24人	24人				
		１～３年生	16人	18人				
		４～６年生	8人	6人				
	⑤確　保　量		-	172人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		▲１人				
	１～３年生		▲15人				
	４～６年生		14人				
	確保量過不足（⑤－②）		▲83人				

※各年４月１日現在の人数

緑台小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		17人	17人	16人	16人	16人
	２年生		14人	14人	15人	14人	14人
	３年生		12人	12人	12人	13人	13人
	４年生		4人	4人	4人	4人	4人
	５年生		2人	2人	2人	2人	2人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		49人	49人	49人	49人	49人
	②確保量		38人	48人	48人	58人	58人
	過不足（②－①）		▲ 11人	▲ 1人	▲ 1人	9人	9人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		50人	69人				
		１年生	17人	24人				
		２年生	13人	17人				
		３年生	14人	14人				
		４年生	6人	12人				
		５年生	0人	2人				
		６年生	0人	0人				
	④利　用　者　数		50人	52人				
		１年生	17人	22人				
		２年生	13人	16人				
		３年生	14人	13人				
		４年生	6人	1人				
		５年生	0人	0人				
		６年生	0人	0人				
	待　機　児　童		0人	17人				
		１～３年生	0人	4人				
		４～６年生	0人	13人				
	⑤確　保　量		-	41人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		20人				
	１～３年生		12人				
	４～６年生		8人				
	確保量過不足（⑤－②）		3人				

※各年４月１日現在の人数

竹園小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		24人	24人	23人	23人	22人
	２年生		19人	19人	19人	18人	18人
	３年生		12人	17人	18人	18人	17人
	４年生		18人	8人	11人	11人	11人
	５年生		3人	9人	4人	5人	6人
	６年生		4人	2人	4人	1人	2人
	①量の見込み		80人	79人	79人	76人	76人
	②確保量		97人	97人	97人	97人	97人
	過不足（②－①）		17人	18人	18人	21人	21人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		77人	77人				
		１年生	23人	17人				
		２年生	11人	20人				
		３年生	28人	13人				
		４年生	8人	22人				
		５年生	7人	3人				
		６年生	0人	2人				
	④利　用　者　数		71人	67人				
		１年生	23人	17人				
		２年生	11人	20人				
		３年生	26人	10人				
		４年生	6人	18人				
		５年生	5人	1人				
		６年生	0人	1人				
	待　機　児　童		6人	10人				
		１～３年生	2人	3人				
		４～６年生	4人	7人				
	⑤確　保　量		-	89人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		▲３人				
	１～３年生		▲５人				
	４～６年生		2人				
	確保量過不足（⑤－②）		▲８人				

※各年４月１日現在の人数

石田小学校区

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	１年生		33人	33人	33人	33人	32人
	２年生		25人	25人	25人	25人	24人
	３年生		25人	16人	16人	18人	18人
	４年生		7人	12人	8人	7人	7人
	５年生		2人	2人	3人	1人	1人
	６年生		0人	0人	0人	0人	0人
	①量の見込み		92人	88人	85人	84人	82人
	②確保量		80人	90人	90人	90人	90人
	過不足（②－①）		▲ 12人	2人	5人	6人	8人

＜実績＞令和7年度実績です。

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③申　込　者　数		100人	120人				
		１年生	33人	38人				
		２年生	36人	32人				
		３年生	17人	32人				
		４年生	10人	14人				
		５年生	4人	3人				
		６年生	0人	1人				
	④利　用　者　数		94人	100人				
		１年生	32人	36人				
		２年生	35人	28人				
		３年生	15人	27人				
		４年生	10人	9人				
		５年生	2人	0人				
		６年生	0人	0人				
	待　機　児　童		6人	20人				
		１～３年生	4人	11人				
		４～６年生	2人	9人				
	⑤確　保　量		-	105人				

実績－計画	量の見込み過不足（実績－計画）		28人				
	１～３年生		19人				
	４～６年生		9人				
	確保量過不足（⑤－②）		25人				

※各年４月１日現在の人数

令和７年度児童コミュニティクラブの量の見込みと確保量について

（１）令和７年度申込者数の状況について

＜令和７年度実績＞

☆前年度申込者数との比較

	入所者数内訳							① R7 入所者数		② 待機児童数		③＝①＋② R7 申込者数	④ R6 申込者数	③－④ R7-R6 申込者数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計							
伊勢原第1	31	26	20	14	1	0	92	110		10		120	116	4
伊勢原第2	2	6	5	3	2	0	18							
大山	3	5	1	3	1	0	13	13	+	0	=	13	11	2
高部屋	27	22	13	7	1	0	70	70	+	20	=	90	78	12
比々多第1	16	21	18	8	2	0	65	101	+	3	=	104	125	▲21
比々多第2	7	10	10	8	1	0	36							
成瀬	54	37	29	4	4	1	129	129	+	25	=	154	135	19
大田	32	13	19	12	2	2	80	80	+	2	=	82	62	20
桜台	52	67	33	14	16	3	185	185	+	24	=	209	195	14
緑台	22	16	13	1	0	0	52	52	+	17	=	69	50	19
竹園	17	20	10	18	1	1	67	67	+	10	=	77	77	0
石田	36	28	27	9	0	0	100	100	+	20	=	120	100	20
全学校区合計	299	271	198	101	31	7	907	907	+	131	=	1,038	949	89

※各年4月1日現在の人数。
※数値には民間クラブ利用者数を含む（伊勢原及び比々多は第1クラブへ合算）。

☆ニーズ量＜計画＞との比較

⑤ ニーズ量＜計画＞	③－⑤ R7申込者数－ニーズ量＜計画＞
955	83

（２）令和７年度確保量の状況について

＜令和７年度実績＞

☆確保量＜計画＞との比較

	⑥ 利用定員		⑦ 民間クラブ受入		⑧＝⑥＋⑦ 確保量＜実績＞	⑨ 確保量＜計画＞	⑧－⑨ 確保量＜実績＞－＜計画＞
全学校区合計	755	+	234	=	989	1,012	▲23

（13）実費徴収に係る補足給付を行う事業

【事業概要】

生活保護世帯など、世帯の所得状況等を勘案して、教育・保育施設等に保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用、並びに幼児教育・保育の無償化に伴い私学助成を受ける幼稚園における給食副食費について、保護者が負担する費用の一部を国の補助制度に基づき助成する事業です。

【確保方策】

補助が必要な全ての世帯への助成ができるよう、対象者の把握と必要な給付に努めます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞計画策定時の５年間の需給計画です。

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）		52人	52人	52人	52人	52人
		教材費等	10人	10人	10人	10人	10人
		副食材料費	42人	42人	42人	42人	42人
	②確保量（年間延利用者数）		52人	52人	52人	52人	52人
		教材費等	10人	10人	10人	10人	10人
		副食材料費	42人	42人	42人	42人	42人
	過不足（②－①）		0人	0人	0人	0人	0人

＜実績＞

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③対象者（年間延利用者数）		27人				
		教材費等	14人				
		副食材料費	13人				
	④申請者（年間延利用者数）		18人				
		教材費等	5人				
		副食材料費	13人				
	⑤給付実施数（年間延利用者数）		18人				
		教材費等	5人				
		副食材料費	13人				
	実績－計画（⑤－②）		▲ 34人				

【令和７年度取組内容】

補助対象世帯（教材費等：保育所等を利用する生活保護世帯等、副食材料費：私学助成幼稚園を利用する世帯のうち低所得世帯および第３子以降の子どもがいる世帯）に制度や申請方法等を周知し、教材費や給食費の一部について補助を行いました。

【今後の課題等】

対象世帯への周知を徹底していますが、対象世帯数に対して申請件数が少ない傾向です。

【来年度以降の方向性】

対象世帯が、希望に反して補助を受けられないこととならないよう、申請方法の周知等について、必要に応じて見直しを行っていきます。

（14）多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【事業概要】

幼稚園、保育所などへの民間事業者の参入の促進に関する調査研究、その他多様な事業者の能力を活用した幼稚園、保育所などの設置又は運営を促進するための事業です。なお、本事業は、第２期計画期間は未実施です。

【計画の方針】

本事業は、新規参入等を促進するに当たり、必要に応じて実施を検討します。

【令和７年度取組内容】

国県の動向等を注視し、必要に応じ事業の実施を検討することとしましたが、実施には至っていません。

【今後の課題等】

計画への位置づけが義務づけられている事業ですが、現状として、国・県の制度が本市の状況に合致していません。

【来年度以降の方向性】

引き続き国県の動向を注視し、活用の必要性について適宜検討していきます。

（15）子育て世帯訪問支援事業

【事業概要】

家事・子育て等に対して不安や負担を抱えている子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を訪問し、家事支援や育児・養育支援、相談・助言等を行う事業です。

【確保方策】

要保護児童対策地域協議会等と連携し、対象家庭の把握に努めるとともに、支援が必要な児童に対して迅速に対応するなど、引き続き、児童虐待の未然防止を図ります。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

計画	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	①量の見込み（年間延利用件数）		21件	21件	21件	21件	21件
	②確保量（年間延利用件数）		21件	21件	21件	21件	21件
	過不足（②－①）		0件	0件	0件	0件	0件

＜実績＞

実績		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	③年間延利用件数	-	48件				
	年間延利用件数－量の見込み（③－①）	-	27件				

【令和7年度取組内容】

保護者の養育を支援することが特に必要な家庭に対してヘルパー派遣や送迎の支援を短期集中的に実施し、児童虐待の未然防止、早期対応に努めました。

【今後の課題等】

保護者の養育を支援することが特に必要な家庭に対して、より適切な支援につなぐために他事業との調整が必要です。

【来年度以降の方向性】

支援が必要な家庭に対して、他事業との調整を行いながら、訪問支援員を派遣し、家事支援や育児、養育支援等を行い、虐待の未然防止に努めます。

（16）児童育成支援拠点事業

【事業概要】

養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に、居場所となる場を開設し、生活習慣の形成や学習サポート、進路等の相談支援、食事の提供等、個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供する事業です。

【確保方策】

家庭や学校に居場所のない児童等に対し、居場所となる場を提供し、個々の児童の状況に応じた支援が行えるよう、令和９年度からの新規実施に向けて、支援体制の整備に努めます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）		480人	480人	480人	480人	480人
	②確保量（年間延利用者数）		0人	0人	960人	960人	960人
	②確保量（実施か所数）		0か所	0か所	1か所	1か所	1か所
	過不足（②－①）		▲ 480人	▲ 480人	480人	480人	480人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間延利用者数	-	0人				
	実施か所数	-	0か所				
	利用人数－量の見込み（③－①）	-	▲ 480人				

【令和7年度取組内容】

児童館等でのこども・若者の居場所づくりが進み、本事業の優先順位は高くないと判断し、整備検討は行いませんでした。

【今後の課題等】

類似した他事業との整理が必要です。

【来年度以降の方向性】

類似した他事業の対象や内容等の情報収集をし、本事業の目的達成のために必要な形態を整理します。

（17）親子関係形成支援事業

【事業概要】

児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言、同じ悩みや不安を抱える保護者同士の情報交換の場を設ける等、必要な支援を行う事業です。

【確保方策】

フォロー教室において、グループワーク等を行い、健全な親子関係の形成に向けた支援を行います。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み		24回	24回	24回	24回	24回
	年間実施回数／回		24回	24回	24回	24回	24回
	年間参加延組数／組		120組	120組	120組	120組	120組
	年間参加実組数／組		20組	20組	20組	20組	20組
	②確保量（年間実施回数）		24回	24回	24回	24回	24回
	過不足（②－①）		0回	0回	0回	0回	0回

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間実施回数	-	15回				
	年間参加延組数	-	59組				
	年間参加実組数	-	14組				
	年間実施回数－量の見込み（③－①）	-	▲ 9回				

【令和7年度取組内容】

親子の関係性や発達に応じた児童との関わり方等の知識や方法を身に付けるため、遊びの提供やグループワーク等を実施しました。

【今後の課題等】

発達検査を受けていない家庭でも、発達課題がある児や発達に関する助言が必要な家庭に対し、教室に参加出来るようにする必要があります。

【来年度以降の方向性】

来年度より、発達検査を受けておらず教室への参加が必要な家庭に対し、必要な支援へ繋げる為にも教室へ参加出来るよう進めていきます。

（18）妊婦等包括相談支援事業

【事業概要】

①妊娠届出時、②妊娠８か月前後、③乳児家庭全戸訪問、これらの３つのタイミングで面談を実施し、伴走型相談支援を実施する事業です。

【確保方策】

妊婦・その配偶者等に対して面談等により情報提供や相談等（伴走型相談支援）を行います。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分			こども計画				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み	年間妊娠届出数／人		606人	595人	588人	582人	576人
		一人当たり面談回数／回		3回	3回	3回	3回	3回
		年間面談実施合計回数／回		1,818回	1,785回	1,764回	1,746回	1,728回
	②確保量	こども家庭センター（年間面談実施合計回数）		1,818回	1,785回	1,764回	1,746回	1,728回
	過不足（②－①）			0回	0回	0回	0回	0回

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間面談実施合計回数	-	1,691回				
	年間実施回数－量の見込み（③－①）	-	▲127回				

【令和7年度取組内容】

妊娠届出時には、保健師・助産師等の専門職が面接を行いました。妊娠8か月では、全員にアンケートを郵送し情報提供するとともに、希望者には面接や訪問を行いました。出産後は、新生児訪問、乳児家庭全戸訪問で助産師や保健師が育児相談、情報提供等を行い、必要な支援につなぎました。

【今後の課題等】

メンタル既往や未婚での出産など、複雑な背景を持つ母親や家庭が増えています。

【来年度以降の方向性】

引き続き、妊娠中から専門職が妊産婦等に寄り添い、情報提供や相談に応じるとともに、必要な支援につないでいきます。

（19）産後ケア事業

【事業概要】

出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行う事業です。

【確保方策】

育児支援チェック等を実施し、産後ケアを必要とする母子にデイサービス型（日帰りタイプの産後ケア）と訪問型（助産師の訪問による自宅での産後ケア）の２種類により事業を実施します。

また、市内産科医療機関等と連携し、産後のメンタルケアの充実や宿泊型（宿泊タイプの産後ケア）の実施に向け、取り組んでいきます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（年間延利用者数）		125人	122人	120人	119人	119人
	②確保量（年間延利用者数）		125人	122人	120人	119人	119人
	過不足（②－①）		0人	0人	0人	0人	0人

＜実績＞

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③年間延利用者数	-	156人				
	年間延利用者数－量の見込み（③－①）	-	31人				

【令和7年度取組内容】

市直営のデイサービス型を18回開催しました。1回あたり６～8組の母子を対象に、育児相談、赤ちゃんとのふれあい遊びや産褥体操、母親同士の交流などを行い、113組の利用がありました。また、訪問型は延べ43人利用され、助産師が個別のニーズに合わせて支援を行いました。また委託による宿泊型ケアの導入に向けて、市内産科医療機関と調整を行いました。

【今後の課題等】

身近に支援者がいない家庭が増え、産後うつのリスクの高いケースなどもみられることから、宿泊型の導入など産科医療機関と協力した、さらなるサービスの拡充が求められています。

【来年度以降の方向性】

まずは市内3か所の産科医療機関で宿泊型、デイサービス型（個別）の委託が開始できるよう調整を進めます。市直営のデイサービス型、訪問型も引き続き実施し、ニーズに合わせて利用できるようサービスの拡充に向けて取り組みます。

（20）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

【事業概要】

月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で保育所等を利用できる事業です。

【確保方策】

令和８年度からの事業実施に向けて、定員どおりの受入れを行えるよう、実施する園の確保とともに、保育士確保のための取組を進めていきます。

【量の見込みと確保量】

＜計画＞

	区分		こども計画				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
計画	①量の見込み（必要定員数）			44人	43人	43人	43人
		0歳		13人	12人	12人	12人
		1歳		18人	17人	17人	17人
		2歳		13人	14人	14人	14人
	②確保量（必要定員数）			44人	43人	43人	43人
		0歳		13人	12人	12人	12人
		1歳		18人	17人	17人	17人
		2歳		13人	14人	14人	14人
	過不足（②ー①）			0人	0人	0人	0人

＜実績＞

			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
実績	③利用者数						
		0歳					
		1歳					
		2歳					
	実績ー計画（③ー②）						

【令和７年度取組内容】

関係法令や基準に従い必要な条例の制定等を行い、令和8年度からの実施に向けた体制の整備を進めました。

【今後の課題等】

新たな制度であるため、実施事業者の確保・拡大と制度の浸透が必要です。

【来年度以降の方向性】

市民・事業者に対し事業について周知をはかるとともに、詳細な利用ニーズの把握と提供量の確保に取り組みます。